第４学年１組　社会科「郷土をひらく」

山口玄洞が尾道の人々に残したものは？～尾道市の発展に尽くした思い～

指導者　　中村　恵

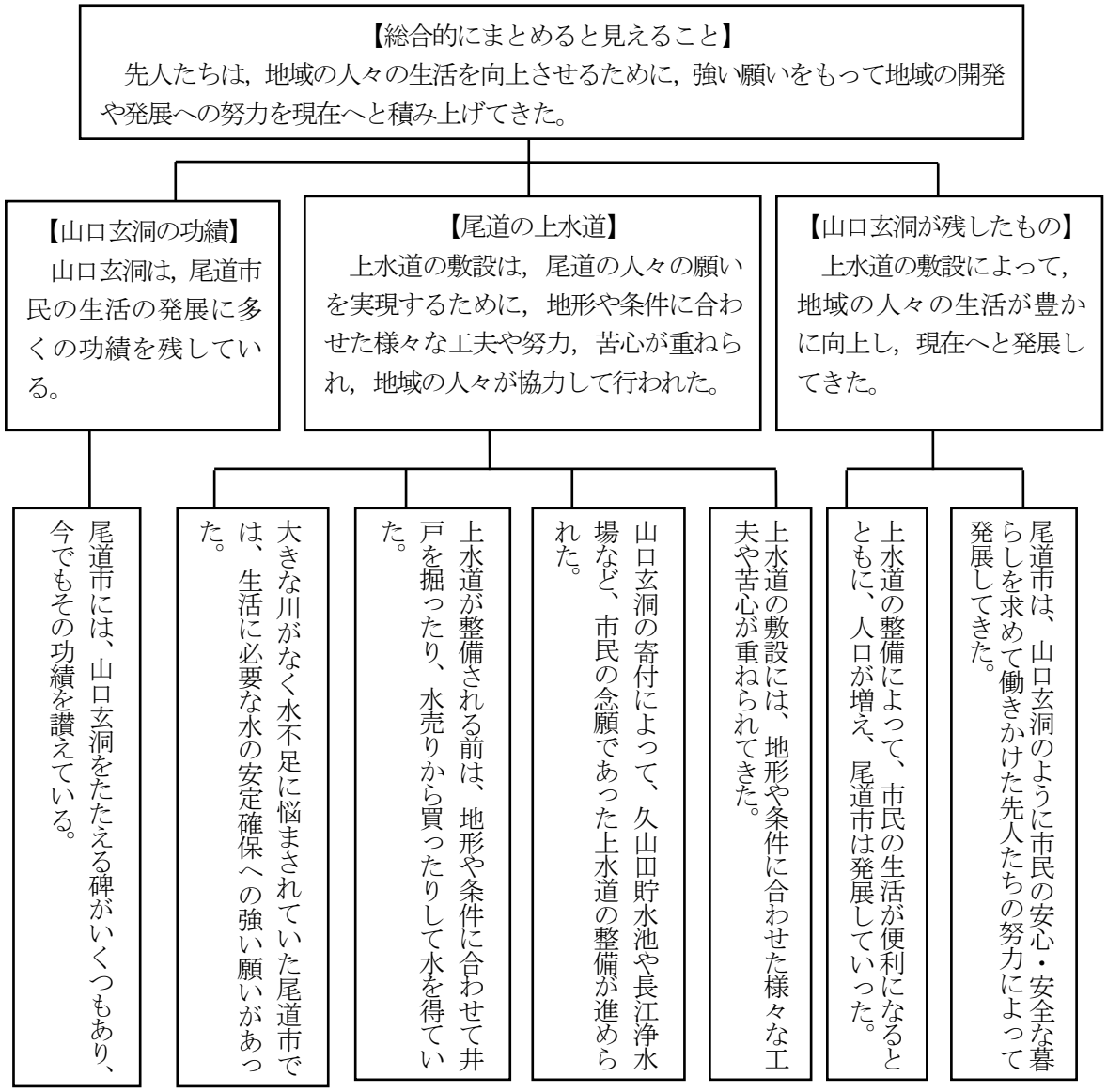
1　単元設定の理由

○　本単元は，小学校学習指導要領第 3 学年及び第 4 学年の目標と内容に基づき設定した。学習指導要領には，以下のように示されている。

（5）地域の人々の生活について，次のことを見学，調査したり年表にまとめたりして調べ，人々の生活の変化や人々の願い，地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

ウ　地域の発展に尽くした先人の具体的事例

内容構造図



○単元観

本単元は，地域の人々の生活を向上させてきた先人の働きについて，自分たちや今の生活とのかかわりを，その歴史的な足跡を見学したり，資料を活用したりして調べ，先人たちの努力や工夫，苦心を具体的に考えることを学習する単元である。

尾道市は，海を何度も埋め立てて発展してきたまちであり，土地の 70%が埋め立て地である。また，山すそに寄り沿うようにまちが形作られ，大きな河川がなく昔から生活用水にはことさら苦労してきた。そのため，個人のあるいは共同の井戸が数多く掘られたが，昔の尾道の井戸水は，本通りから北では水量が少なく，本通りから南では塩分を含んだ水しか出てこないという問題をかかえていた。それゆえ水の需要が増すと，人々は飲用水または，家庭の雑事用水を水売りから買って生活していた。しかし，さらに町が栄え，にぎやかになるにつれて，港に入る船や出入りする人が増え，飲用水が不足していった。昔からいつも水不足に悩まされていた市民にとって，上水道の整備は強く大きな願いであった。そこで，尾道市は、市民の熱望に応えるために 1913 年上水道敷設のための調査を始め，二度にわたる計画中止を経て，1919 年久山田水源地，長江浄水場を建設し市内に配水する計画が実行されることになった。そして，この上水道敷設計画は，尾道市出身の実業家山口玄洞による多額の寄付によってようやく実現するに至ったのである。つまり，現在の尾道市民のくらしを支えているのは，これまでの多くの市民の切なる願いとその実現に向けた努力，そしてそれを支援した玄洞の存在であるといえる。また，玄洞は，上水道敷設資金の他にも尾道実業補習学校の建設・運営資金を寄付するなど，私財を投じることによって故郷尾道の発展につくしてきた。このような玄洞の生き方は，彼の両親をはじめ，様々な人とのつながりの中で経験してきた，人の「助け合い」「恩」によって育まれてきた。

このように，上水道敷設を求めた市民の苦労や願い，それを支えた玄洞の存在，そして，それらによって人々の生活が向上したことを児童が学習することは，尾道市が発展してきた様子を具体的に理解させるとともに，尾道市に対する誇りと愛情を育てるのに適していると考える。

○児童観

本学級の児童（23 名　男子９名，女子 13 名）は，社会科への興味・関心が高く意欲的に学習する児童，興味はあるが少し難しいと感じている児童と様々である。児童アンケートでは『社会科の学習が好き』と答えた児童が 74%であった。その理由としては「見学に行くことが楽しい」「地図帳を見て学習することが楽しい」「習ったことを自分の生活に活かせる」などが主なものであった。また，見学や自分で調べる学習は好きだが，資料を読み取ったりわかったことや考えたことを発表したりする活動を「好き」と答えた児童は半数であった。１学期「水はどこから」の学習では，「給水量の変化」と「人口の変化」を表す二つのグラフを読み取る学習を行った。結果は以下の通りである。

①給水量の変化を読み取っている。・・・・・・・・・・16 人（70%）
②人口の変化を読み取っている。・・・・・・・・・・・18 人（78%）
③給水量の変化と人口の変化の関係を読み取っている。
・・・・・・・・・・20 人（87%）
④読み取ったことから今後の変化を予想する・・・・20 人（87%）

これらのことから，「変化」に着目してグラフを読み取れていない，読み取ったことが正しく伝わるように表現する力に課題があることがわかった。また，変化を読み取れている児童においても，数値を使ってくわしく変化を表現できている児童は少なかった。

今後は，資料の読み取り方を高めるとともに，わかったことや考えたことを表現する力を付けることが重要であると考える。

○指導観

指導に当たっては，今の自分たちの生活は地域の発展に尽くした先人たちの働きに支えられていることについて，写真，絵，地図，年表などの資料を活用して調べるだけでなく，実際に現地を見学したり話を聞いたりすることを通して，当時の人々の思いや願いに共感しながら学習を進められるように単元を構成する。

課題設定では，駅前にある山口玄洞の碑を取り上げ，そこから尾道市には山口玄洞の功績をたたえる碑がいくつかあること，それらは山口玄洞の没後に建てられたことに気づかせ「なぜ山口玄洞が亡くなってから約100年たった今でも市民から功績を讃えられているのか」ということに関心を持たせ，意欲を高めたい。また，１学期に社会科で学習した「水はどこから」，総合的な学習で学習した「尾道の名誉市民」のことも想起させて，学習につなげていく。

調べる段階では，まず水が得られにくい地理的条件の中で，尾道の人々は昔から水不足に悩まされていたが，みんなで工夫し助け合いながら生活をしていたことをつかませる。その際，地域に残る井戸を見学したり，水売りから水を買って生活していたことを資料から読み取ったりしながら，人々は工夫しながら生活していたことと，上水道敷設への強い願いがあったことを理解させたい。そして，山口玄洞の寄付によって整備された久山田貯水池から長江浄水場まで実際に歩くことで，当時の工事の苦労や工夫について実感を伴いながら理解できるようにする。そして，長江浄水場から今も尾道市内の一部に給水されていることを知り，今もその恩恵を得ていることを感じさせていく。

まとめでは，「山口玄洞が尾道の人々に残したものは？」という課題に対して，「山口玄洞の碑 in 土堂小を作ろう」という活動を行う。山口玄洞が残したものは，私たちの生活になくてはならい水であったこと，そのおかげで今も安心・安全な暮らしができていること，尾道が発展したことを自分なりの表現でまとめるとともに，先人への感謝の気持ちと自分も地域を大切にし，発展させていこうという思いを表現させたい。表現が難しい児童には，学習してきたことを教室掲示に残したり，「感謝状を書くつもりで表現してみよう」と手紙形式で書かせたりして，全員が先人の努力によって発展してきた尾道に誇りや愛情を持つことができるようにする。

2　単元の目標

○　上水道を敷設した先人の働きに興味をもち，その働きや苦心によって地域の人々の生活が向上したことを理解するとともに，先人の努力によって発展してきた地域に誇りや愛情をもち，そのよりよい発展について考えようとする。【理解・態度】

○　上水道の敷設に尽くした先人の働きから学習問題を見いだし，その足跡を見学，調査したり年表などの資料を活用したりして調べて年表や地図，作品などにまとめるとともに，地域の人々の願いや努力と上水道を開発した先人の働きや苦心とを関連付けて考え，適切に表現する。【能力】

3　単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
単元の評価規準	○地域に上水道を敷設した先人の働きに関心をもち，意欲的に調べるとともに，先人の努力によって発展してきた地域に愛着をもって，地域社会のよりよい発展を考えようとしている。	○上水道を敷設した先人の働きについて学習問題や予想，学習計画を考え表現するとともに，地域の人々の生活の向上には，人々の願いや，それを実現するための努力，山口玄洞をはじめとする先人の働きや苦心があったことを考え，適切に表現している。	○今も残る貯水池・浄水場の見学・調査，地域の人への聞き取り，年表その他の資料の活用を通して必要な情報を集め，上水道の開発につくした先人の働きや苦心を読み取って，年表や地図，作品などにまとめている。	○上水道を敷設して地域の発展に尽くした山口玄洞をはじめとする先人の働きを理解するとともに，地域の人々の生活の向上が人々の願いや努力，先人の働きや苦心によるものであることを理解している。

4　指導計画（全13時間）

次	学習活動	めざす児童の姿	評価規準（評価方法）
一	山口玄洞の顕彰碑を調べ，学習課題を作る。（1）	**山口玄洞は，何を尾道の人々に残したのだろう。**	○　山口玄洞について興味をもち，玄洞の功績について進んで調べようとしている。【関・意・態】（ノート）
	山口玄洞が尾道の人々に残したものは？　～尾道市の発展に尽くした人～		
二	山口玄洞の功績について調べる。（1）	**山口玄洞の寄付によって，尾道市の上水道工事が進められ，今の上水道の基となっている。**	○　山口玄洞によって進められた事業について資料をもとに調べ，尾道市の上水道の整備への功績があることがわかり，まとめている。【技能】（ノート・観察）
	上水道が整備される前の人々の生活について調べ，水不足に悩まされた人々の苦労や工夫，上水道敷設への願いを知る。（2）	**水不足に悩まされた人々は，大きな井戸や「二階井戸」を掘り，工夫して生活していた。しかし，十分な水を手に入れることは難しく，人々は上水道をつくって欲しいという願いを持ち続けていた。**	○　上水道が整備される前の人々のくらしを調べ，水が乏しい土地での苦労や，人々の工夫によって水を得ていたことを理解している。【知・理】（ノート・観察）
	山口玄洞の寄付によって,上水道が整備された経緯について調べる。（1）	**何度も上水道をつくる計画が立てられて，尾道市の土地の条件に合うように考えられた。**	○　尾道市の上水道が整備された経緯について進んで調べようとしている。【関・意・態】（ノート・観察）
	久山田貯水池・長江浄水場を見学し，上水道整備の苦労と工夫について調べる。（5）	**久山田貯水池・長江浄水場の工事は，今のような大型機械はなく，多くの人が時間をかけて手作業で行っていた。**	○　貯水池・浄水場の見学を通して，上水道整備の苦労や工夫について進んで調べようとしている。【関・意・態】（ノート・観察） ○　上水道は，様々な工夫と協力，苦労の中で整備されてきたことを理解している。【知・理】（ノート・観察）
	上水道が整備されてからの市の様子や人々の生活の変化について調べ，山口玄洞が尾道に残したものは何かを考える。（1）（本時11／13）	**上水道ができたことで，安心で便利な生活ができるようになったこと，町が大きく発展したことへの感謝の気持ちがこめられている。自分たちで碑を作ってのこすほど，上水道ができたことで生活が豊かになり，玄洞さんへの感謝の気持ちは大きかった。**	○　上水道が整備される前と後の市の様子や人々の暮らしの変化について調べ，尾道の発展に尽くした山口玄洞の思いに気づき，それによって今の自分たちが受けている恩恵について考えている。【思・判・表】（ノート・観察）
三	「山口玄洞の碑 in 土堂小」を作ろう。		
	山口玄洞への感謝の思いと地域の文化を受け継いでいく決意を表現する。（2）	**尾道市に上水道をつくるために力をかしてくださりありがとうございます。これから私達も，安心・安全な生活のできる尾道市を大切にしていきたいと思います。**	○　山口玄洞の働きによって人々の願いが実現し，地域が発展してきたことを適切に作品にまとめている。【思・判・表】（ノート・作品）

5　本時の展開

(1) 本時の目標

○　上水道が整備される前と後の市の様子や人々の暮らしの変化について調べ，郷土の発展に尽くした山口玄洞の思いや，それによって今の自分たちが受けている恩恵について考えることができる。

(2) 観点別評価規準

○　上水道が整備される前と後の市の様子や人々の暮らしの変化について調べ，郷土の発展に尽くした山口玄洞の思いや，それによって今の自分たちが受けている恩恵について考えている。

【思考・判断・表現】

(3) 準備物

写真資料「山口玄洞」「久山田貯水池」「長江浄水場」，「現在と昔のまちの様子」，「学校」
統計資料「給水量や人口の変化」，水道の敷設・拡張の経緯を記した年表，ワークシート

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点（○）と支援（◆）	評価規準（評価方法）
1　これまでの学習をふり返り，本時の課題を確認する。	○　「山口玄洞」「久山田貯水池」「長江浄水場」の写真を提示し，これまでに学習したことを確かめる。	
上水道ができて，尾道の人々のくらしはどのように変わったのだろう。		
2　上水道ができる前と後の写真を比べて，変化の様子を話し合う。	○　上水道ができる前と後の様子のちがいに着目させ，建物の数が増えていること，だんだん高所に家が建てられていること，大きな都市へと変化していることに気付かせる。 ◆　ちがいを視覚的に捉えられるよう写真を用いる。	
3　表やグラフで表された資料や年表を用いて，変化の様子について詳しく調べる。	○　上水道の敷設・拡張の経緯を記した年表と，給水量や人口の変化を表したグラフから，水道が広がっていき人口が増えたことに気付かせる。 ◆　キーワードを書かせるワークシートを用意する。	
4　上水道が整備された後，人々がそれを「玄洞水」と名づけたのはなぜかについて話し合う。	○　写真や資料から読み取った変化を関連させながら話し合わせる。 ○　板書を構造的にし，何が変わったかが一目でわかるように残す。 ○　水道ができた時の人々の気持ちを想像させる。 ◆　暮らしの変化と玄洞への感謝の思いを関連付けて考えさせる。	

5　上水道以外の山口玄洞の業績を知り，尾道の発展に尽くそうとした玄洞の思いを考える。 6　まとめをする。	○　玄洞が建設に貢献した学校の写真を提示し，それらは人々がよりよく生活する上で必要なものであることに気付かせる。 ◆　「上水道」，「学校」などが今でも尾道市内に残されていることを写真で示す。	
上水道ができたことで，安心で便利な生活ができるようになったこと，町が大きく発展したことへの感謝の気持ちがこめられている。自分たちで碑を作ってのこすほど，上水道ができたことで生活が豊かになり，玄洞さんへの感謝の気持ちは大きかった。		
7　山口玄洞が尾道にのこしたのは何かを，自分の言葉で短くまとめる。 （評価問題）	○　「玄洞が残した学校や上水道はわたしたちにとってどんなもの？」と問いかける。そして，「上水道ができたことによって，人々の生活は，…」の続きを書かせ，最後に「だから，玄洞が残したものは，…」とまとめさせる。	○上水道が整備される前と後の市の様子や人々の暮らしの変化について調べ，尾道の発展に尽くした山口玄洞の思いに気づき，それによって今の自分たちが受けている恩恵について考えている。 【思・判・表】 （ノート）